

上毛町教育委員会より



子どもの体力向上

西吉富小学校の取組

▲早く、強いボールを

体力は、人間のあらゆる活動の基本となり、健康な生活をおくる上でも、またものごとに取り組む意欲や気力といった精神面の充実にも深く関わっています。

子どもの時期に活発な身体活動を行うことは、成長・発達に必要な体力を高めることはもとより、運動・スポーツに親しむ身体的能力の基礎を養い、病気から身体を守る体力を強化し、より健康な状態をつくっていくことにつながります。

そこで、体力向上に向けた組織的取組を推進するため、県内すべての学校において、各学校の実態に応じた体力向上に係る特色ある「1校1取組」運動を行っています。

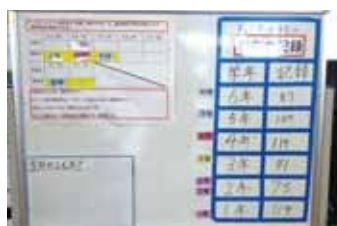
西吉富小学校では、「運動の楽しさを味わい、進んで運動する子どもの育成」を目標に、「みんなであつなごうドッジボールラリー」の取組を継続的・計画的に行ってきました。体育の時間はもちろん、各学期1回、体育委員会主催で、昼休みにドッジボールラリー記録会を実施することで、運動に対する意識や運動習慣の向上を図っています。

※ドッジボールラリー

1つのグループが2つのチームに分かれ向かい合って並び、1つのボールを使ってキャッチボールを行い、3分間に何回受け止めることができたかを競います。



▲体育委員会による記録証渡し



▲ドッジボールラリー 学年記録掲示板



▲相手に向かって正確に



▲ボールをしっかりキャッチ

認知症サポーター養成講座を開催しました  
認知症の方に優しい町づくりを

2月7日に日頃から地域の見守り活動にご尽力をいただいている民生委員・児童委員の方を対象に、認知症サポーター養成講座を開催しました。内容は包括支援センター職員による認知症についての講話と、大川病院職員の方による「本人への対応方法や周囲への支援方法」についての実演でした。

「認知症について理解はしているつもりでも、実践となると難しさを感じる」、「改めて対応方法について理解することができた」、「地域での活動の際にも活かしていきたいと思った」といった感想を聞くことができました。

認知症の方が住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らせるためには、民生委員・児童委員の方をはじめ、温かく見守ってくださる地域の方々の存在が不可欠です。

今後も、認知症の方に優しい町づくりを目指し、事業に取り組んでいきたいと思います。



令和4年度九州地区スポーツ推進委員功労者表彰

上毛町スポーツ推進委員 福本 利三氏

1月28日～29日に大分市のレゾナック武道スポーツセンターで開催された「第65回九州地区スポーツ推進委員研究大会」で、上毛町スポーツ推進委員の福本利三氏が、永年にわたり地域における生涯スポーツの振興に尽力された功績が認められ、九州地区スポーツ推進委員協議会会長から表彰状が贈られました。

福本氏は平成14年4月に大平村体育指導委員(現上毛町スポーツ推進委員)に就任以来、20年以上にわたり、各種スポーツ行事の企画・運営に携われ、上毛町及び地域スポーツの普及振興に貢献されています。



第17回 上毛町駅伝・走ろう会

2月12日(日)、上毛町大平支所周辺で「第17回上毛町駅伝・走ろう会」が開催されました。

実施にあたっては新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じて町内限定の開催となりましたが、駅伝に16チーム(117名)、走ろう会には54名が参加し、健脚を競い合いました。



第17回 上毛町駅伝・走ろう会

▲地区対抗の部 優勝 垂水下区チーム

